

# 共に集い、交わりを共有することの祝福！

万代 栄嗣



静

岡県の吉田町では来年度から町立小中学校の夏休みを“10日間程度”に大幅短縮する計画が進められています。年間の授業日数を増やし、一日あたりの授業時間を減らして、教員の長時間労働問題を解消するのが目的なのだとか…。しかし、この町の改革だけの話ではなく、昨今の児童生徒たちの夏休みの雰囲気、昔のそれと比べて相当変化してきました。山のような宿題に、補習だ、塾の夏期講習だ、部活動の練習に合宿だ、さらに高3になるとオープンキャンパスという、ある種の受験まで行われるようになって、何だか全く夏休みらしくありません。

もちろん、私の頃の夏休みにも宿題はたくさんありましたが、それでものどかでしたし(宿題をしなくても平気だったのは、私だけかもしれませんが…)、部活動で忙しくもしていましたが、うまく調整することもできて、教会の行事はいつも皆勤で、一生懸命奉仕することもできました。楽しい思い出がたくさんあります。その上、お得意のボーっとする時間もたっぷりあったように思います。それが、最近の子どもたちは、夏休みであっても何だか忙しく、夏休みにふさわしい風情といったものを味わえなくなっているようです。

大人ばかりか、子供たちまでむやみに忙しくなりつつあるそんな最近の生活の中でも、今年も全国聖会を成功裏に開催することができたことは、本当に感謝なことでした。日本中の皆さんとスケジュールを確保して、一箇所に勢ぞろいしましょう、というのは考えてみれば至難の業。しかし、今回の会場となった高知のホテルに、250名ほどの兄弟姉妹たちが集まってくださり、最高に恵まれた2日間の全国聖会となりました。

讚美や祈り、交わりの時間を、神様が豊かに祝福してくださいました。行き帰りの移動時間にも主が共にいてくださり、暑さや人込みの混雑の中でも、楽しさを満喫することができました。何よりも、今回の講師であられた佐藤彰先生を通して語られた御言葉によって、試練に遭遇した時の信仰ということを深く考えさせられ、それでも揺るがない主キリストにしっかりと根差した信仰生活を求めて祈らせていただきました。

どんな忙しさの中であっても、主キリストの御名により集まることの大切さを、私たちは忘れてはなりません。そもそも教会とは、建物や規則で出来上がっているものではなく、主キリストを信じる人々が集まることがあってこそ、の教会なのです。さあ、これから夏の後半にあっても、私たちは共に集うことの価値、喜び、元気、注がれる聖霊の祝福を忘れずに歩んでまいりましょう。

## recommend

### おすすめ情報

おすすめ



#### 信仰を働かせよ！

■レイモンド・ムーイ著／万代栄嗣訳  
ウィズダム出版(1000円)

信仰を実生活の中で働かせる方法をシンプルに、わかりやすくお伝えします。働く信仰を身につけたい方に。

プレゼント



#### 青色のリボン

■がんばるばんど  
まんだいえいじ・イチカワユウジ・福岡勝也・森谷強  
GEMImpact (1200円)

ライブ録音でがんばるばんどの魅力を満喫。青色のリボンを含む全オリジナル9曲